

X社リスク一覧表

No	リスク名	枝番	想定される事態	頻度	予想損失	含有プロセス
R1	専任宅地建物取引士設置義務に反し、3日以上業務停止又は免許取消処分を受けるリスク	1	現在、各事務所に1名の宅地建物取引士が勤務しているが、過去に宅地建物取引士の確保に右往左往したこともあり、宅地建物取引士の確保に優先して「専任」の要件を満たさない宅地建物取引士を配置しているかのように装って臨時的に業務を行っているかまう可能性は否定できず、仮にそのような事態が発生して監督官庁の知るところとなれば、業務停止又は免許取消の処分がなされるリスクがある。	過去に宅地建物取引士の退職等により設置義務要件を満たさない状態になったことは1度もなかったが、退職等により宅地建物取引士を新たに確保しなければならなくなることが20年の社歴の中で5回ほどあった。よって、頻度は「極低」と評価する。	山口県の「宅地建物取引業者の違反行為に対する監督処分基準」によれば、専任宅地建物取引士設置義務違反があった場合の処分は原則として7日の業務停止である。当法人の前売上高は〇〇億〇〇万円であり1営業日に換算すると〇〇万円、7日だと〇〇万円となる。これに加えて信用毀損による客離れ率を20%、影響残存期間を〇年と見積もると予想損失は〇〇万円となる。よって、影響度は「中」と評価する。	従業員の退職 人事異動
R2	a	1	省略	省略	省略	不動産売買媒介 契約締結
R3	法定報酬超過報酬の受領リスク	1	歩合給欲しさに法的知識のない顧客に対して法定報酬を超過する報酬を請求し、仮にそのような事態が発生して監督官庁の知るところとなれば、業務停止又は免許取消の処分がなされるリスクがある。	過去5年の報酬請求件数を調査したところ、その件数は〇〇件であり、年平均で〇件で非常に多いことが確認された。もっとも、報酬額の計算式は契約書に不動文字で記載されていることなどから過去に法定上限を超える請求がなされた案件は1件も確認されなかった。よって、発生可能性という意味での頻度は「低」と評価する。	山口県の「宅地建物取引業者の違反行為に対する監督処分基準」によれば、法定報酬規制違反の場合、原則として15日の業務停止処分がなされることとなる。・・・以下、R1と同様・・・よって、影響度は「大」と評価する。	不動産売買媒介 契約締結 報酬請求
R4	以下、略					

X社RCM

作成日：2023年4月20日 評価日： 年 月 日

リスク		コントロール						
No	枝番 優先度	コントロール カテゴリ	IT	コントロールの内容 (統制) 成果物 (ToDo)	実施部署 担当者	証拠	評価	評価内容
	全般	全般		<input type="checkbox"/> リスク管理規程 <input type="checkbox"/> 職務権限規程 <input type="checkbox"/> 内部通報制度規程	全PB			
R1	1 A	省略		省略	省略	省略		
R2	1 S			b	省略	省略		
R3	1 B	省略		省略	省略	省略		
R4	以下、略	以下、略						